

駅～地域の「門」として 知事賞受賞 5A一坪 博君の作品

目 次

■コンテストで大活躍 ······	2
■シリーズ「研究室訪問」 ······	5
■卒業を前にして ······	6
■第21回高専祭 ······	8
■シリーズ「人物・いま」 ······	11
■冬季行事 ······	12
■シリーズ「クラブ紹介」 ······	13
■学寮だより ······	14
■新学生会始動 ······	15
■図書館ギャラリー オープン ······	16

コンテストで大活躍

いろいろなコンテストが開催されていますが、今年度は、プログラミング・コンテスト競技部門で文部大臣賞を受賞したのをはじめ、福岡県建築設計競技でも知事賞を受賞するなど、優秀な成績のラッシュ。これらを紹介します。

第8回プログラミング・コンテスト

課題部門「ENBAT is not extended New Battle Type」優秀賞 4M森野 誠、4I林 豊洋・上野吉晴
自由部門「アドタイム（Add Time）」優秀賞 2M吉開健介・長尾一也

競技部門「東奔西走～森のダーリン、車のハニー」文部大臣賞 優勝 4I石橋和子・西原佐知、4C森 由紀

課題部門：4M 森野 誠

私は今回、課題部門のネットワーク対戦型タイピング練習ソフト「ENBAT is not extended New Battle Type（以下 ENBAT）」のメインプログラムを担当しました。ENBATの原案自体は、2年前から応募し、予選落ちしていました。そこで今回は、更にアイデアの練り直しや、開発言語の変更等を行い応募したところ、念願かない本選への出場権を獲得しました。その後、夏休みから開発を始めましたが、Java言語を用いた開発が難航し、本選まで1ヶ月を切った時点でプロトタイプすらでき上がらず、前期末試験も重なり最悪の状況でした。しかし、競技部門メンバーや、応援に来てくれた先輩方のお陰で何とか完成させることができました。その時の喜びは今でも覚えています。ただ、特別賞はいただいたものの、本選でのプレゼンテーション審査やデモンストレーション審査は、満足できるものではなかったのが心残りです。

自由部門：4I 林 豊洋

今回、初めてプロコンの本選に出場して、一番感じたことは「プロコンはプログラムのでき栄えのみでは勝てない」ということであった。私たちのプログラムは、特別賞も受賞し、アイデアとしては素晴らしいものだったと思う。しかし、その素晴しさを人に伝えるプレゼンテーションに問題があった。プレゼンテーション審査で、言いたいことを十分言えず、審査員の質問にはうまく答えることができなかった。また、操作マニュアルも完成度が低かったと思う。これらの原因は、私のプロコンに取り組む姿勢に真面目さが不足していたからだと思う。

今回のプロコンでの収穫は、他高専の人と会えたこ



と、競技部門の優勝を目の前で見れたことぐらいであろうか。とにかく、今年のプロコンは、私にとってはかなり悔しいものとなった。来年は今年の分までがんばりたい。

競技部門：4I 石橋 和子

私たちは、多分プロコン始まって以来、初の女性のみのチームであったと思う。今年の競技部門には、私たちを含む、全部で39高専が出場していた。競技の内容は、簡単に言うと、基本的に自作の通信システムを用いて離れた2人が通信し、指定された花を早く摘んだ方が勝ちというもの。しかし、実際に正しい花を摘むのは難しく、相手のミスや途中に設けられたアドバンテージによる優勢勝ちという高専が多くなった。私たちも4回戦までは相手のミスで勝ち上がってしまったので、さんざん運だけのチームと言われてしまった。でも、実力か前日の下見のおかげか、準決勝と決勝では花を摘んで勝ち進み優勝することができた。このシステム開発のために2ヶ月半ほどかかり大変だったが、交流パーティーで他の高専の人たちと仲良くなれたり、とても楽しい2日間だった。



'97ロボット・コンテスト九州地区大会



5M 松藤 良太

10月26日鹿児島の国分市でロボットコンテスト九州大会が行われました。

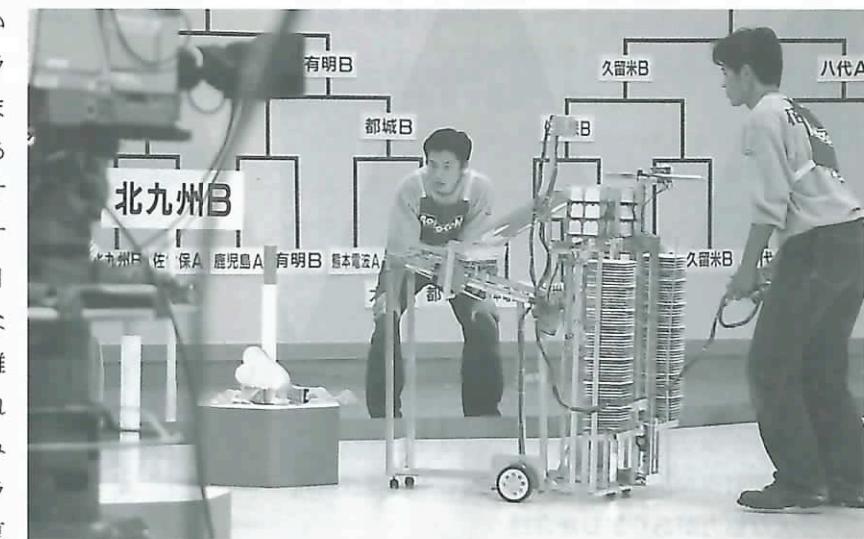
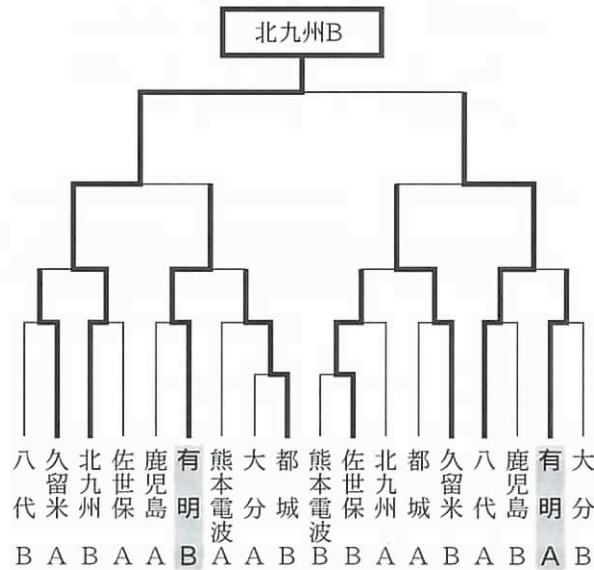
本校はここ数年ロボコンで良い成績を残しておらず、今年は学校全体で力を入れて結果を出そうという方針でした。私たちも昨年の失敗をしないように、また昨年の経験を生かし7月から取り組みました。私自身もリーダーという大役を任せ、かなりプレッシャーを感じていました。先生方も夏休みの間、私たちの進行状況を把握し、良きアドバイスを与えて下さいました。ただ私たちもロボコンは自分たち学生の力でやっていくものだと思っていたので、なるべく自分たちだけでやろうとしました。しかし、今になってみると自分たちよりも先生方は知識や経験があり、素直に聞かなければならぬこともあったと思います。

9月上旬にはロボットを一通り完成させる予定でしたが、夏休みになかなかアイデアがまとまりず、その時にはまだ駆動部しか完成していませんでした。次第に私たちは焦りと不安を感じていました。9月下旬になってある程度形が見えてきましたが、それにつれて問題点も多くなり、このまま難しい機構に挑戦するよりも作り直した方がいいのではないかという意見も出て、チームがバラバラになってしまった時期もありました。ただみんな考え方方に違いがあつてもロボットを作り上げようとする強い意志があったので、作り直すという方向でみんなが納得し、9月末からがんばりました。このようなことがあり、人をまとめることの難しさを知ることができました。それから1ヶ月間は1日がロボコンのみといつていいような生活になり、ラスト2週間は徹夜の連続でした。夏

休み中も自分たちなりに一生懸命やっていましたが、この頃のエネルギーに比べると小さいもので、人間その気になつたらすごい力を出せると思いました。

大会では5Mチーム、DIYチーム共に1回戦を勝ち、私たちのチームは1回戦で上手くいっていたことが全て悪い方に出て、2回戦は敗退しました。一方、DIYチームはベスト4まで進出しました。昨年と違い、ロボットを動かすことができたという喜びもあり、もっと練習していればまだ勝ち上がることができたという悔しさもありました。大会を終えて思ったことは、この4ヶ月間授業では学べない技術的なことや精神的なことなどいろいろなことを学んだと思います。またチームのみんなが力を合わせなければロボットは完成しなかつたでしょう。

最後に、4ヶ月間ご指導くださった先生方、また部品等を製作してくださいました実習工場の先生方、応援をして下さった皆様にお礼を申し上げます。



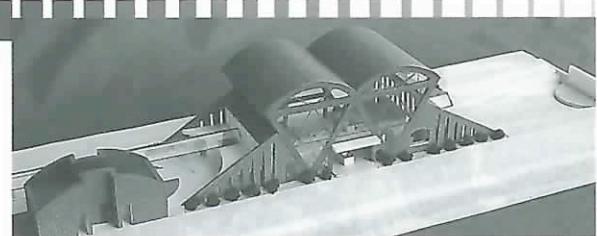
建築設計競技2題

その1. (社)福岡県建築土事務所協会主催

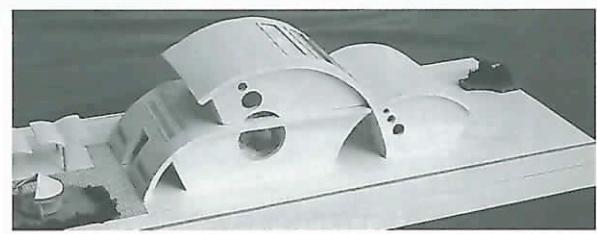
平成9年度福岡県内工業高校生並びに専門学校生による建築設計競技が9月に行われました。「駅～地域の「門」として」が課題で、本校からは3A8名、4A5名、5A9名の計22名の多数の応募がありました。3A中野毅君が高校生の部で、5A一坪博君(表紙掲載)が専門学校生の部で、最高の知事賞を獲得しました。その他、3A溝口直美さんが特別賞に、3A野口裕二君・清原友美さんが佳作に、3A藤田智子さんが協会賞に入りました。3Aの5名の入賞の結果、団体賞として優秀学校賞を受賞しました。

その2. 御船フォレストタウンなみきが丘建設推進協議会主催

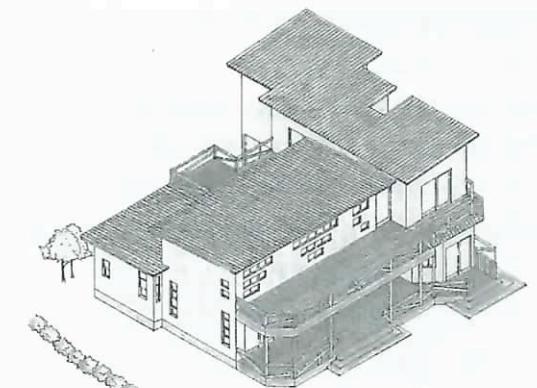
「木造住宅モデルハウスの設計およびアイデアコンペ」が9月に行われました。本校からは3A2名、4A47名の計49名の応募があり、大学・高等専門学校部門で大学生の作品をおさえて4A内濱美弥子さんがグランプリの栄誉に輝き、4A西浦純子さん・石橋泰介君が優秀賞を、4A山下紗喜子さん・水野大輔君が入選を、獲得しました。この部門の7名の入賞者のうち実に5名が本校からの入賞となりました。



知事賞 中野 毅君の作品



特別賞 溝口直美さんの作品



グランプリ 内濱美弥子さんの作品

技術協力によるリサイクル石けん用反応釜が完成

(本校地域連携推進センター発足後の成果第1号)

10月8日、(財)大牟田市雇用開発センターにある高齢者生きがい創造センターで、同センターの木下栄介理事長と本校の山藤馨校長により、完成したリサイクル石けん用反応釜の火入れ式が行われました。

雇用開発センターでは、環境保全と高齢者・障害者の雇用の場として平成元年から、食用油の廃油を原料としたリサイクル石けんの製造販売を行っています。

2年前、同センターが毎年秋に開催するサン・アビリティまつり(大牟田勤労身体障害者教養文化体育施設)にNHKロボコンに出場したロボットの出演依頼があった際、機械工学科の川崎教授が石けんプラントに関する技術相談を受けたのが、きっかけでした。綿密な製造現場調査、スタッフとの打ち合わせの後、卒業研究テーマに最適と考え、お引き受けしました。昨年度、卒研学生の現場実習から始まり、改善案の決定、設計、製作、試験がなされ、この度納品、検収を完了しました。この間製作および試験には本校実習工場の技官諸氏の多大な協力がありました。

(推進センター委員 猿渡 真一)



シリーズ 研究室訪問

今回は、一般科目数学の村岡良紀先生の研究室を訪問し、先生のご研究について伺いました。

ご専門はですか？

学生の皆さんには、数学を教えていますが、専門は統計力学、物理の分野です。今スピニ系の相転移について調べています。

スピニ系といいますと？

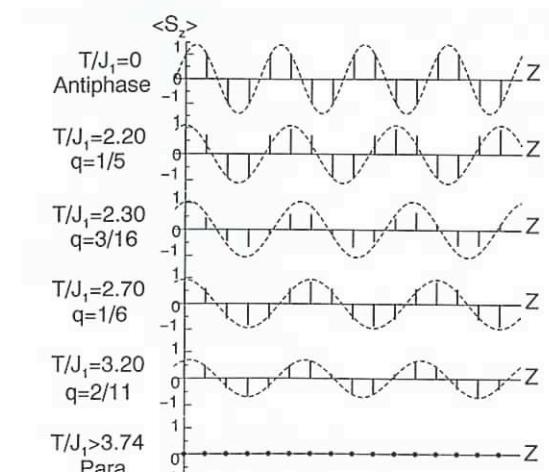
例えば、ビデオテープ等に塗ってある磁性体を、モデル化したような系を考えてください。磁性体を作っている1個1個の磁性原子を小さな磁石だとすると、テープ面には、この小さな磁石が一面に重なり合って並んでいます。これらはお互いに力を及ぼし合って、エネルギー的に一番安定な状態になるように配列します。このような小磁石の配列について、モデル化して調べています。

どのようなモデルを考えられているのですか？

有名なモデルに「イジングモデル」というのがあります。これは、立方体の連続した格子を考えて、その格子点上にある小磁石は、上か下かの方向を向くことだけが許され、また最も近い磁石同士のみがお互いに力を作用しあうと仮定したモデルです。私のモデルは、隣りあう小磁石だけでなくその次に隣接する小磁石の作用も考慮に入れたものです。この次隣接する小磁石の間に作用する力をどのくらい考慮するかによって、小磁石の配列状態が様々に変化します。また温度の変化によって、いろんな相転移が見られます。

相転移というのはどういうことなのでしょうか？

例えば、氷は、温度が上昇すると水になりますね。氷である固体の相が水である液体の相へ移ったわけで、このような変化を相転移といいます。この変化の原因是、温度が上昇するにつれて水の分子が活発に動きまわるようになるからです。スピニ系の場合も同じで、低



安定なスピニ配列の温度変化

温では秩序良く並んでいた小磁石は、温度が上がるにつれて、その運動が活発になり自由に向きを変えるようになります。

例として、4年位前に調べた左下の図を紹介します。最上段は、絶対零度で、上向きの2個の小磁石と下向きの2個の小磁石を交互に並べたものです。第2段以下は、温度を上げて行くにつれて現れる小磁石の配列状態を示しています。点線で描かれている波の振幅がだんだん小さくなっていますが、これは上下以外の向きを持つ小磁石が増えたことを意味します。最下段は、小磁石の向きがばらばらになったことを示します。この状態は、秩序良く並んでいた最上段の状態とは異なった相で、秩序相から無秩序相への相転移が起こったことになります。次隣接力の大きさと温度のいろんな組み合わせによって、このような相転移が多數現れることがわかりました。簡単なモデルなのに、出てきた結果が非常に複雑であることは、おもしろいと思います。

この図は、数値計算をされたものなのですか？

はい。方程式を導いて、それをパーソナルコンピューターで解いたものです。古いコンピューターなので、これを解くのに1日位かかりました。

その方程式は、難しい数式なのですか？

そんなことはありません。この高専で私が教える程度の数学が理解できていれば、そう難しいことはありません。学生の皆さんに言いたいのは、皆さんのがここで学んでいる数学は、必要なものばかりで、理工学の基礎となるものですから、きちんと身につけてほしいということです。それから先はそれぞれの分野で必要な時に学べば良いことだと思います。

(聞き手：簗田 登世子)



教官室にて

卒業を前にして

出席者 馬田 雄一 (5M) 井上 和也 (5E) 安藤 由美 (5I)
森 舞 (5C) 米村 久弥 (5A) 司会 中川忠昭 (E科)

司会 皆さん、後期中間試験も終わりほっとされ、各自卒業研究いろいろ予定があり大変忙しいこととは思いますが、各学科を代表して出席していただきました。5年間の高専生活を振り返って、特に印象に残ったこと、後輩へのアドバイスなどを中心に話を聞かせて下さい。

全国大会60キロ級柔道で3位と優秀な成績をおさめられた馬田君からどうぞ。



司会 それでも強かった…。(笑い)

学生会会长を務められた井上君どうぞ。

井上 2年生から学生会に入っていたので、部活と学生会に費やした時間が多かった。ちなみに5年間野球部でした。

司会 西日本弓道部大会で、女子は優勝でした。

おめでとう！

その弓道部で活躍された安藤さんどうぞ。



安藤 5年間の高専生活で印象に残っているのは今年の高専祭です。最上級生としてがんばりました。準備に2週間かかりました。

司会 大日本インキ化学工業（株）に就職される森さんどうぞ。

森 3年生のとき、球技大会のバスケット女子の部で優勝できたことが印象に残っています。1ヶ月前から朝早く来て練習しました。

司会 卒業後、竹中工務店に就職される米村君どうぞ。

米村 国立学校なので期待していたのだが、学校の設備等が期待していたのと全然違った。

司会 建築を志望し、選んで有明高専に入学されたのでしょうか？

米村 いや、入学する時は、そんなことは考えておらず、ただ単に5学科のなかで建築が一番いいかなあと思って建築に入りました。物をつくることは好きですね。それで高専祭のテーマは皆で話し合って決めました。

司会 皆さんは学生会活動、高専祭、スポーツなど各方面で活躍されました。後輩への助言、アドバイスについて聞かせて下さい。

米村 思う存分しっかり遊んでおいたがいい。勉強よりも今しかできないことを、ジャンルは問わずにいろいろ経験しておいたがいい。

馬田 落第しないくらいに勉強する。

司会 勉強ばかりしていてもつまらないという意味ですか？



米村 ちがうちがう。遊び中心でよい…。(笑い) 勉強と部活と遊びにめりはりをつけてさえいれば。

森 私もめりはりのある生活が、大事だと思いました。5年間はけっこう長いのでなんとなくだらだら

してしまう部分があります。今やりたい事をやって悔いのない生活を送るべきだと思いました。

司会 岡山大学に進学される安藤さんどうぞ。

安藤 友達を今之内につくる。就職してからの友達と違うから。学生時代にたくさんの友達をつくった方がよい。

司会 安川電機に就職される井上君どうぞ。

井上 遊ぶだけ遊んで、勉強はやる時はやってめりはりをつける。遊ぶときは…というより遊んだ方がよい。すごく仲の良い友達をクラスでつくるのもよいけど、他の学科にも自分の知り合いを広める様な感じ…学年だけでなく、例えば自分がクラブ活動をしているのであれば先輩であったり後輩であったり、横だけでなく縦のつながりと、どんどん広めていった方が良い。

馬田 いいことをいうね。そういう意味では今の寮

は良い。しかし、あまりにも規制が強すぎる。1、2、3年生はわかるけど、4、5年生になると考えていいのでは…。そうそう寮の改革ができて良かった。それまではカンゴク…洗濯せねばならなかつたし、女子寮は最初からきれいによかったけれど…。

司会 その他感じられたことなど、聞かせて下さい。

安藤 3年生まで寮にいました。有明高専は広いと感じました。

米村 単位制と思っていたのに違ったんですね、単位制と思って高専にひかれたのに…(笑い) それに欠席したら点数が引かれる…また、選択できる教科も少ない。

森 4年の夏期実習で、福岡県の保健環境所に行なったことはたいへん勉強になりました。一度社会に出て働いてみると自分のこれから就職か進学かを決める大きなきっかけになるものです。実習を受け入れる会社数が足りずに行きたくても行けない人がいるのが残念です。

司会 長崎大学に進学される馬田君どうぞ。

馬田 僕も夏期実習に行きました。しかし部活でけがをして行けませんでした。それで有明高専ロボットJリーグで小中学生の相手をしていました。夏期実習には行きました。

井上 夏期実習後OHPをつかって発表会をしました。僕の場合1週間テキストの説明があり、ビデオを見て帰るだけで、なにもしなかった。全然おもしろくなかった。実習に行くなら遠くに旅行気分で行った方がおもしろいと思う。

米村 夏期実習はゼネコンに行き、いろんな意味で勉強になりました。

司会 実習に行って良かったと聞きますとほっとし

ます。さて高専祭についての感想あるいは、ぜひ言つておきたいことなど聞かせて下さい。

井上 高専祭は5年生になるとパートに分かれて全員で担当する。さらに準備期間が長いので終わった後の達成感は体育祭より大きいと思う。僕の場合、4年生の時の体育祭は学生会役員として働いていましたから、応援団に参加できなくて、すごく心残りです。

米村 僕は、今のうちに、海外旅行へぜひ行くよう勧めます。人の話や、雑誌、TVとかでいろいろ情報が流れているけれど、実際行ってみないとわからないこともある。価値観等も行く前と後では全然変わるので。また年をとってからでも行けるけど、今の内(若い時)に行くことに意味がある。この前の夏休みに井上君とその他数人でタイへ行きました。英語で話しました。10日間の旅でした。現地へいったらtrfが流れていた…タイ語は少し話せます。外国语は行ったらなんとかなる。何日かたつとわかるようになるし、ちゃんとしゃべれるようになる。

井上 こっちが必死に伝えようとしているのを相手がわかるとしてくれるので意志は伝わる。

森 海外旅行いいですよね。私も韓国に行ったことがあります。



司会 今日は有意義な話を聞かせていただきました。

卒業研究の発表までわずかです。がんばって下さい。就職される人、進学される人、皆さんが選ばれたそれぞれの道を健康に気をつけ、しっかり進んで下さい。ありがとうございました。

(平成9年12月5日収録)



第21回 高専祭

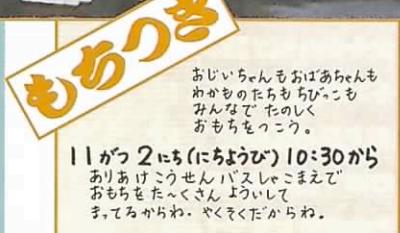
空前絶後 ~我らがやらねば誰がやる~



■学生会会長あいさつ

5E 井上 和哉

前回の高専祭が盛況であったため、今回の高専祭が前回以上のものにできるか正直不安でした。しかし、実行委員、各学科等、様々な工夫が見られ、前回を上回る来校者で大成功だったと思います。2年後、僕達が訪れる側になった時の高専祭に期待しています。



●日程表 11月1日(土)

TIME →	1 2	1 3	1 4	1 5	1 6
場所					
第1体育館					フリーマーケット
					文化系クラブ展示
一般棟	漫研・コンピュータ・高周波・美術・華道・茶道 写真・フォークソング				
その他	天文(友夢創家)・英研(視聴覚室) 自動車工学(部室:機械科前)・映研(視聴覚室)				
バス倉庫前		留学生コーナー			
第2体育館				バンド演奏	
選択棟		バンド演奏			
各学科棟		各学科催し物			

TIME →	1 6	1 7	1 8	1 9	2 0
場所					
第2体育館				中夜祭	



國樂珠科



E科 イライラ棒

■実行委員長あいさつ

5A 入江 智亮

前回より1ヶ月くらいスタートが遅れ、ピンチの連続でしたが、実行委員や他の学生の協力もあって、当日は前回をはるかに超える？(たぶん) 来校者があり、大変盛り上がった高専祭だったと思います。次回の高専祭は今回よりもっといいものになると期待しています。



1997年夏

プログラム

- ① Mr. M. M. s 露天、女美コンテスト
 <決勝戦>

② アーレンスリンク

③ ハンド: \$5 & wanted

④ マジカルアクションゲーム
 <決勝戦>

⑤ アーレンスリンク

⑥ ハンド: さのこ姫

⑦ 開店さんいいらっしゃい

⑧ 松葉装飾

⑨ 浪曲たてボン
 加 ハンド: FREE

中夜祭バザー

両まん	¥100
カレーザン	¥100
カレーパン	¥100





FREE



FESTIVAL GUIDE MAP



八科 T-G



I科 名刺づくり



C科 メッキコーナー



トライサイクル



中夜祭

文化講演「近代化と日常の世界」

講師：熊本大学文学部助教授 徳野貞雄先生



地域社会学とくに農村社会学がご専門の徳野先生は、中国・四国・九州を軸とした農山村を飛び回られているフィールド派の研究者で、全国合鴨水稻会世話人、国土庁地域振興アドバイザーなども務められている。現場での豊富な体験を基に、産業科学の発達と人間社会の関係について熱弁をふるわれた。

人類は、これまで3つの近代化（民主化、産業化、科学化）を実現してきたが、一方では、核爆弾、環境、生態系の秩序破壊など人類にとって深刻な問題を生み出し、限界も見えてきたことから話は始まり、人口問題、効率主義がもたらす弱者切り捨て問題、さらに日本の農業および食糧問題など現代社会が抱えているさまざまな問題を提示された後、これから社会で生きていく若い学生に対して、

(1) 我々人間は、他の生態系に助けられて生きているということをもっと自覚して、動植物と同じ目線で生活し、彼らにやさしく暮らすこと、

(2) これまでの共同の概念は共同の利益を得ることであったが、これからは共同でリスク（負担）を背負うという意味での共同の概念が重要であること、

(3) その第一歩として、家族をはじめ、周りの人々に対して、自分が何をしてあげられるかを考え実践すること、

が大切であると力説され、日常の世界を大事にして生きてほしいと強く訴えられた。



今年度永年勤続者として表彰された方は、C科宮本教官、A科北岡教官、学生課野中技官・松原技官の4名でしたが、宮本教官と松原技官には、以前、別のテーマで登場いただいておりましたので、今回は北岡教官と野中技官にご登場願いました。



建築学科
北岡 敏郎

Q1：どのような研究に取り組んでいるのですか？

以前は保育施設や子どもの遊び場を研究しまして、現在は公共図書館（市町村立図書館）の建築計画について研究しています。我が国の公共図書館は20数年前に閉架式から開架式に変わり、空間も室で仕切るのではなく、スーパーマーケットのようにオープンになりました。オープン空間はいろんなコーナーで構成されていますが、それらをどのように構成したらいいのかが課題です。

Q2：研究の楽しさはどこにあるのですか？

二つあります。一つは現在の計画のあり方を否定して、新たな計画の提案をする、いわば発想のおもしろさを楽しめることです。もう一つは、実証の方法を考

えることです。図書館はバラバラと人が来館し、思い思いの利用をして退館するわけですから、捉えようがないんですね。これを実証するために、利用者にわからないように追跡調査をしています。いわば、探偵ごっこです。

Q3：高専生に一言

授業でも言っているのですが、私が高専の教官になって一番良いことは、頭をフレッシュに維持できる、つまり、若さのエネルギーを君達から吸収できる点だと思います。また、君達と交わることによって、ただ教えるばかりではなく、逆に教えられることもあります。その意味では、本来教育とは一方にとって価値があるのではなく、双方にとって価値があるのかもしれません。何年も変わらない授業はやりたくない。もっともっとおもしろい授業を君達と一緒に創っていきたい。また、君達は技術者になる前に人であらねばなりません。人間としてみれば私は君達と同じであり、ただ、人生の経験年数が長いだけなんです。世の中のこと、恋愛、家族、人生などいろいろなことをもっともっと君達と議論したい。

ひときわ一人でした。合宿中の学生が11名手当てに訪れました。中でも最初に訪れた5E S君は時々顔を出してくれ今も年賀状のやりとりが続いています。初日も終ろうとする午後4時「病人です。」と呼び出しを受け現場に駆けつけました。陸上部野中君。救急車に上原先生と同乗し病院へ。H.B.L（過呼吸による発作）とのこと。ビニール袋と点滴一本で退院となりました。

平成4年運び込まれた卓球部野中君。やはりH.B.L。今回は勤続5年目のキャリアで余裕（？）の手当てで事なきを得ました。この野中君と私は誕生日まで同じ。こんな所以で本校に勤務するようになった不思議な縁を感じています。

人生で最も多感な時期の15才～20才までの5年間「個」を重んじ良き友を得、立派な社会人として巣立たれるよう微力ながらお手伝いできればと思っています。



学生課
野中 妙子

私は学校卒業後11年4ヶ月臨床の場で仕事をしていました。本校勤務が10年8ヶ月従って今回20年の永年勤務表彰を受けました。これもひとえに教職員の皆様や、学生、卒業生の暖かい励ましのお陰と深く感謝いたします。着任当時は女子学生38名で教官サイドも男性ばかり、まるでペンギンの行列のような感がありました。I科の増設以来、あれよあれよと女子学生、女性教官も増え華やかさも増し学校全体のバランスもとれてきたように思います。

昭和62年4月1日着任。初めての学校勤務に緊張も

●ラグビー・フットボール大会



ラグビー部主将 4E 佐藤 健太郎

今年の高専大会は、11月18日に本校のグランドで行われ、たくさんの応援をいただきました。1回戦は佐世保高専との対戦でした。我々有明フィフティーンは新人戦で負けた悔しさをバネに練習をし、試合では精一杯タックルをし、力の限り走りましたが、60対7で惨敗しました。これからオフシーズンに入りますが、この試合の悔しさを忘れず、春の新人戦に向けて練習に励みたいと思います。皆様の応援、本当にありがとうございました。

●吹奏楽部定期演奏会



実行委員長 3M 大渕 晃裕

今回の定期演奏会のテーマは「宝探し」でしたが、僕の宝は「仲間」と思います。仲間がいてからこそ演奏ができ、一人ではとてもじゃないけど演奏会は開催できないと思います。仲間というものがあるから人生は楽しいし、何でもできる。いつも一緒にいるからそういう意識を感じることを忘れていましたが、改めて僕はこの演奏会で認識させられたような気がします。

僕はこれからもみんなと一緒に懸命がんばっていきたいと思います。

●冬季球技大会

11月28日冬季球技大会が行われました。当日は、朝は晴れていたものの降水確率は70%ととても高く、話し合いにより雨天時のプログラムとなりました。初めのうちは、雨が降っていなかったので、2週間も前から練習していた人たちからは、不満の声も出ていました。しかし、午後からは雨が降り出し、先生方の判断に従ったのだけが人も出ず、すばらしい試合が多く見られました。

今回の大会を振り返ってみると、力をつけて昨年以上の上位入賞をしたチームが多く見られました。特に4年生の優勝が目立ち、今後の体育祭などの団体種目に期待が持てます。また、下級生も、球技大会など数をこなしていく内にチームワークが芽生え、優勝が狙えそうになってきました。次回もがんばってほしいと思います。

成績

種目	優勝	MVP
バスケットボール	4A	松尾 健
バレーボール	4C	徳永 純一
女子バレー	2I	小宮 志保
卓球	4E	廣瀬 晋也
最優秀クラス	4E	
優秀クラス	4A	



●資格取得

平成9年度工事担任者試験

- ・デジタル1種 4E 伊藤 豪章
- ・アナログ3種 4E 田口 秀一
何川 敬介
- 3E 北島 健介

平成9年度電験3種

4E 芳川孝太郎

シリーズ

Cクラブ紹介B

今回は、柔道部と弓道部の登場です。柔道部主将31片山美樹雄君と弓道部主将4E渡邊貞治君に、学生会長4C永田和美さんがインタビューしました。

永田 部員の構成をおしえて下さい。

片山 2年生が2人と、3年が4人のあわせて6人です。5年生が引退されて、部員が減りました。随時部員募集中です。興味があったら、誰か部員に声をかけてみて下さい。

渡邊 弓道部は現在男子15名、女子11名の26名で活動しています。

永田 活動状況はどうですか？ また、どんな練習メニューですか。

片山 現在、道場が改築工事中で、走りこみなどの自主トレを行っています。普段は、基礎的な練習から始めて実戦形式の練習まで1時間半位です。試合としては、月に1度、大牟田高校で行われる月例試合に参加しています。また、昇段試験なども、積極的に受けるようになっています。

渡邊 弓道の練習法には3種類のものがあります。（数稽古・見取稽古・工夫稽古）日頃はなるべく多く弓を引かせる数稽古と、人の練習を見て勉強する見取稽古が主ですね。自分でいろいろ工夫して練習を行う工夫稽古は、各個人にまかせてあります。冬場にはランニングや筋肉トレーニングをやっています。

永田 高専大会の成績は？

片山 個人戦で僕と、5Mの馬田さんが3位になりました。馬田さんは、全国大会でも3位と健闘されました。団体戦は、予選リーグを勝ち抜くことはできませんでした。それでも、1つ1つの試合を見ると、素晴らしい試合を数多くありました。

渡邊 近年は女子の活躍が目立ちますね。今年は西日本地区で優勝もしましたし、それに比べると男子の方は元気がないような気がします。実力は充分あると思うんですけど。

永田 あなたが入部しようと思った理由は何ですか？

片山 中学の時から柔道をやっていて、入ろうとは考えていましたが、事情があって、1年の時は何もしていませんでした。2年になってから、他の部員からすすめられて入部しました。



渡邊 “憧れ”かな。前々から漠然とした憧れがあつたんです。弓道って何か日本武道のなかでも、どこかクールなところがあるでしょ。そこに憧れてたんですよ。だから勧誘なんかは入部のきっかけにすぎなかつたですね。ま、実際には女子の袴姿に憧れた面がありましたけど。

永田 入部して良かったなあと思ったことは？

片山 他の学科や、他の高専の人との関わりが増えたことはとても大きい。また、個人的には、高専大会で、2年連続で、3位に入賞できたことも、こうして考えると良かったと思います。

渡邊 たくさんありますよ。弓道に親しむことによって協調性・礼儀作法が身についたことや、自分の人生においてよき目標となる方々に出会えたことなど、中でもとの出会いは自分の中で最も大切にしていることです。今の自分は弓道によって知り合った人々に支えられていると思ってますし、だから今はそういう人達に感謝していますよ。

永田 今後の希望は？

片山 とにかく部員が減っているので、一人でも多くして、部の雰囲気を盛り上げていきたい。次の高専大会では、一人でも多く入賞して、全国大会に出場できるようにしたい。また、団体でも、上を目指してがんばりたい。

渡邊 僕個人としては、部をまとめていく者として、もっとカリスマ性をつけたいですね。もっと魅力のある人間になれば、部員もついてくると思うし、部員に対してはもっと部活を楽しんでほしい。楽しく部活ができるようになれば、もっともっと強くなりますよ。

部全体としては、やはり西日本地区弓道大会で男女そろって優勝することですね。今年のチームは有望な選手がそろってますし、それぞれに自覚もあると思うんです。だから来年はやれる気がしています。

ま、来年の有明高専弓道部にご期待ください。

永田 ありがとうございました。



学寮だより



新寮長挨拶

4A 大和洋

新しく寮長に就任しました4年建築学科の大和洋です。これまで副寮長としてがんばってきましたが、こうして寮長という立場になってみると、責任というものがより一層強く感じられます。本当に自分でよかつたのかと思うぐらいです。しかし、寮生は自分を選んでくれたのでその期待に応えなければなりません。そこで強力な仲間として、副寮長の3M簗君、総務書記の4C梅木君、涉外の4E渡邊君や他の寮生会役員約20名の頼りになる人たちが揃いました。この役員を中心に寮生全員が協力しあいながら、そしてまた、それぞれの意見を反映させながら寮の行事または問題点といったものに取り組んでいきます。近頃では、上級生と下級生との繋がりが深まり大変良く感じていますが、生活面での乱れが現れてきているのが気になります。そういう点では、初心忘れずという言葉もあるように、寮に入ったばかりの新鮮な気持ちを持ち、守るべき秩序と規律をもう一度寮生全員が見直してもらいたいと考えています。

堅苦しいことばかり述べてきましたが、自分としては活気ある寮にし、充実した生活を送るようにしたいし、自慢できる寮を目指したいのです。そういうことでも先生方や事務の方々には、大変ご迷惑をかけると思いますが、寮生会役員と寮生全員が一丸となつてがんばりますのでご協力ヨロシクお願いします。



■平成10年度 寮生会新役員

寮長	4A 大和洋
副寮長	3M 築優一
総務書記	4C 梅木淳二
涉外	4E 渡邊貞治

各局	局長	副局長
会計	3I 田中力	2E 木村彰宏
風紀	4M 松本隆太	3I 前田誠
整備	3C 田川勇氣	2E 久岡貞弘
体育	4M 時津智史	3C 徳本家康
厚生	4C 矢野敦士	1M 隈本太郎
報道	2M 金井武史	2M 狩野佑介
娯楽	4M 山本健太	3C 岸本大志
写真	2E 中野佑紀	2M 藤嶋直之



■行事関係

寮祭（9年11月15日）岱明寮最大の行事で「劇」、「寮長杯争奪棟対抗チキチキゲーム」、「歌って宜しく」などのゲーム、「留学生の部屋へようこそ」、女子寮生の歌など催され、会場内には大きな歓声と笑いが響きわたり、秋の夜の楽しいひとときとなりました。

寮長選挙（9年11月25日）信任投票の結果、新寮長に4A大和洋君が選ばされました。

寮生消火訓練、女子棟避難訓練（9年12月8日）

荒尾消防署の協力を得て、防火についての講話を聞き、消火器の扱い方と消火方法を体験した。また女子寮生の避難訓練を行い、各階から代表2名ずつが避難通路を下りて実際に避難方法を体験しました。

冬季球技大会（10年1月17日）各棟階別にチームを編成し、男子はサッカー、女子はピーチボールバレーの競技を行いました。

寮生送別行事（10年2月7日）卒業予定寮生19名を送る行事で、昼は餅つきを行い、夜は劇と後輩からの「贈る言葉」などの祝賀行事を催しました。

新学生会始動



学生会長あいさつ

4C 永田 和美

学生会長の4C永田です。昨年11月、高専祭の終わった後から平成10年度学生会として活動しています。前年度からの役員が10名、今年初めての役員が14名の計24名で、そのうち10名が1・2年生なのですが、みんな、やる気もりもりの人達ばかりなので安心です。

今年度も、球技大会、体育祭、小文化祭…といったイベントがもりだくさんです。学生会も、このメンバーで一生懸命がんばりますので、みなさんもこういった行事へのご協力をよろしくお願いします。

平成10年度学生会新役員

会長	永田和美(4C)	文化局	塚本大樹(3C)
副会長	椿康弘(4M)		杉山香奈子(3I)
	松丸伸一(4A)		河野恵郷(2M)
書記	高場千佳代(4C)		簗田智史(2M)
涉外	武末幸代(4C)	整備局	梅木淳二(4C)
	笠原孝高(2M)		米満卓哉(2E)
会計	田川勇氣(3C)	風紀局	松本隆太(4M)
	堀真理恵(3C)		久保孝一(2C)
体育局	岸本大志(3C)	報道局	高場千佳代(4C)
	田中正輝(2C)		筒井誠(4I)
	井口美智子(2C)		江川誠(2C)
	鬼丸恵介(1A)	放送局	湯村知佳子(3I)
			川内美奈子(2C)

学生会リーダー研修

去る平成9年11月8日に平成9年度学生会指導者研修が行われました。(1)旧学生会活動を総括し、新学生会の活動内容を検討する、(2)平成10年度の学生会行事について日程、内容を検討する、(3)平成9年度冬季球技大会実行計画について具体的に検討する、という目的のもと、学生会新旧役員と学生主事室の先生方、学生係の方とで、今度の学生会活動について話し合いました。学生の意見を先生方に知つてもらういい機会になりました。



トピックス 図書館ギャラリーオープン

●図書館ギャラリー

本校図書館に、全国の高専でも珍しい美術ギャラリーが誕生しました。図書館の玄関ロビー、1階、2階の廊下がギャラリーに改装され、地元で活躍する著名な画家の作品が展示されています。これらの絵画は、大牟田美術館建設推進協議会および大牟田美術協会の温かいご支援と画家の皆様の献身的なご賛同を得て本校に寄贈されたものです。洋画日本画合わせて30点ほどの絵画は現代絵画の動向を伺える力作ばかりで、従来、殺風景で陰鬱な印象を与えていた図書館が知的で文化的な香りを漂わせる空間



に変貌しました。昨年4月より、図書館の一般開放や土曜開館を始めましたので、市民ギャラリーとしての役割も果たすことになりました。去る11月1日、高専祭初日に重ねて盛大に寄贈式とテープカットのセレモニーも行われました。

■ ■ ■ ■ ■ 編集後記 ■ ■ ■ ■ ■

優秀広報紙コンクールにおいて昨年度発行の第90号に対して写真の部で「優秀賞」をいただいた。表紙の素材を提供してくれた写真部はじめ、躍動感あふれる姿を見せてくれた学生諸君に感謝します。さて、本年度は最後のこの号に10月以降の催しを掲載することにした。そのことによって大きな催しの記事を分散させ内容の充実、発行時期の均等間隔化を図った。

有明高専だより 第94号

平成10年2月13日

編集・有明高専広報委員会

発行・有明工業高等専門学校

〒836-8585

大牟田市東萩尾町150

TEL 0944-53-8611

(庶務係)